

呉の景気観測（D I 方式）

- 令和2年9月調査結果 -

呉商工会議所

呉市企業の今期の景況は、前期比上昇も、新型コロナウイルスの影響が続き低水準の状況
 - 今後も不透明で、不安材料多く、各種対応に追われ厳しい状況が伺える -

- ・調査方法 郵送によるアンケート調査
- ・調査内容 景況のほか、生産額・売上額など10項目について
- ・令和2年9月を前年同月と比較
- ・令和2年10月～12月の先行き見通しを令和2年9月と比較
- ・調査時期 9月中・下旬
- ・調査対象 呉市内の業種別主力企業91社
 (回答70社、回収率76.9%)

・9月の景況を見ると、下の表の通り、
総合（全業種） D I（良い～悪い）は△56.8→△41.4と、全体では前期に比べ、15.4と大きく上昇の推移。
業種別では、**製造業**は、約3.5割の企業が横ばいの回答で、D Iは△64.3→△50.0と大きく上昇した。
非製造業は、約6.4割の企業が横ばいの回答で、D Iは△46.9→△28.6と大きく上昇した。

【D I方式について】
 D I（ディフュージョン・インデックス）は、各調査項目について判断の状況を示す。
 ゼロを基準として、プラスの値は景気の上向き傾向（「良い」）をあらわし、マイナスの値は景気の下向き傾向（「悪い」）をあらわす。
D I =（増加・好転等「良い」の回答割合）
 -（減少・悪化等「悪い」の回答割合）

・10～12月の先行き見通しでは、
総合（全業種） D Iは△33.8→△35.7と、前回予測から△1.9と悪化で推移する見通し。
業種別では、**製造業**は、D Iは△33.3→△35.7と悪化の見通し。
非製造業は、D Iは△34.4→△35.7と悪化する見通し。

総合（全業種）では、△56.8→△41.4と、呉市の景況は前期に比べ、15.4と大きく上昇の推移。来期は△33.8→△35.7と、前回予測と比較して悪化の見通し。

業種別概況は、製造業・非製造業共に上昇の動きとなった。9月調査による10～12月先行きDI数値は、令和2年6月調査による7～9月先行き見通しに比べて製造業・非製造業共に悪化の見通しで推移する予測。

呉市の景況は、製造業・非製造業共に上昇の動きとなっているが、コロナ禍発生前の時期と比較すると依然として低い水準であり、回復とは程遠い状況。製造業は、コロナ禍の影響で「受注量・需要量が減少」「得意先の稼働が減少」により売上が減少。航空・鉄鋼・造船関連の厳しさも影響している。自動車関連は一部明るさが見られるも、足元では実感がない状況。非製造業も、コロナ禍の影響により「消費の落込み大きい」「従業員の仕事が発生しない」等、売上や雇用等に影響している。引続き、飲食・サービス関連は、観光客や地元の来店客数の大幅な減少で厳しく、それに関係した事業も悪化、多様な業種に影響が波及している模様。

来期の景況は、コロナ禍の影響がどこまで続くか分からず、先行きが不透明・不確実な中で、生産調整・休業・雇用等、今後も各種対応に追われる様子。先行きへの不安材料が多く、今後も厳しい状況が伺える。

業種別景況D I

	2020年 6月実績	2020年 9月実績	今期			6月調 7～9月 見通し	9月調 10～12月 見通し	来期		
			回答社数構成比 (%)					回答社数構成比 (%)		
			好転	横ばい	悪化			好転	横ばい	悪化
総合（全業種）	△56.8	△41.4	5.7	47.1	47.1	△33.8	△35.7	4.3	55.7	40.0
製造業	△64.3	△50.0	7.1	35.7	57.1	△33.3	△35.7	7.1	50.0	42.9
非製造業	△46.9	△28.6	3.6	64.3	32.1	△34.4	△35.7	0.0	64.3	35.7
建設業	△33.3	△14.3	14.3	57.1	28.6	△16.7	△14.3	0.0	85.7	14.3
卸売業	△33.3	△36.4	0.0	63.6	36.4	△33.3	△36.4	0.0	63.6	36.4
小売業	△50.0	△20.0	0.0	80.0	20.0	△16.7	△40.0	0.0	60.0	40.0
サービス業	△100.0	△40.0	0.0	60.0	40.0	△80.0	△60.0	0.0	40.0	60.0

呉市の業種DI(H30.9～R2.9)

